

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

# 国土交通

MLIT

2014.12-2015.1

特集

## 2050 国土のグランドデザイン 対流促進型国土の形成



業務密着ルポシリーズ  
現場力 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所  
シリーズ探訪・探求  
訪れたいまち 兵庫県篠山市

No. 129

国土交通

No.129

MLIT 2014.12-2015.1 平成26年11月発行（隔月発行）  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

ISSN 1346-7107

編集発行：国土交通省 大臣官房広報課 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3 TEL.03-5253-8111（代表） ●編集協力：日経印刷株式会社  
本誌はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.mlit.go.jp/page/kouhoushi.html>



# 年末年始の輸送等 安全総点検



- 安全確保及び事故防止の徹底!
- 危険ドラッグの根絶!
- テロ防止対策の総点検!
- 新型インフルエンザ対策の徹底!



## 特集

# 2050 国土のブランドデザイン

## 対流促進型国土の形成

### MLIT QUIZ

今年9月、ユネスコの世界遺産登録へ「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の推薦が決まりました。今回の特集でも、その教会資産の一つが紹介されていますよ。

この教会だよ！  
10ページを  
探して!!



小値賀町マスコットキャラクター  
ちかまるくん(右)とはなちゃん(左)

### HOT NEWS!!

## 気象衛星「ひまわり8号」の打ち上げに成功しました!

平成26年10月7日、新しい気象衛星である「ひまわり8号」が、鹿児島県にある種子島宇宙センターから打ち上げられました。これまでの気象衛星と比べて観測機能が大幅に強化され、台風や集中豪雨などの予測精度の向上に役立つようになります。今後、宇宙空間の軌道上でさまざまな試験を行い、平成27年夏頃から運用を開始する予定です



「ひまわり8号」の打ち上げ  
(画像提供:三菱重工業)



気象庁マスコットキャラクター  
はれるん

大成功!!

気象衛星観測について

検索

<http://www.jma-net.go.jp/sat/satellite/satellite.html>

— 今日本が直面する大きな「危機」とは… —  
2014年7月に「国土のブランドデザイン2050」対流促進型国土の形成」を発表しました。これは、2050年の目指すべき国土の姿やそのための国土づくりの理念、基本戦略などを示したものです。  
日本は今、大きな危機に直面しています。まず急速に進む人口減少です。日本は2008年をピークに人口減少局面に入りました。昨年の合計特殊出生率<sup>\*</sup>は1.43と低水準で、このまま推移すれば2050年には人口が1億人を割り込み、約9700万人になると推計されています。これに伴い、人口の地域的な偏在が加速します。特に人口減少の著しい地方部では、若年人口の減少により、消滅する自治体が数多く発生するという指摘もあるほどです。また、切迫する巨大災害もありま

す。東日本大震災があり、そして首都直下地震・南海トラフ巨大地震の30年以内の発生確率は70%とされています。今後の国土づくりを考えるに当たって、巨大災害への対応を考慮に入れないわけにはいきません。

— キーワードは「コンパクトネットワーク」 —  
日本の国土を縦横1kmのメッシュに切つて推計してみると、全国の現在人が居住している地域の約6割で人口が半減以下になり、またその3分の1、全体の約2割の地域では人が住まなくなる…今回の調査で現れた数字です。  
少子化と同時に高齢化も進み、地方圏では高齢人口は2025年をピークに減り始めますが、東京圏は2050年まで増加の一途をたどります。大都市と地方での病院・介護施設・福祉施設の不均衡(ミスマッチ)も大きな課題の一つとなるでしょう。

## CONTENTS

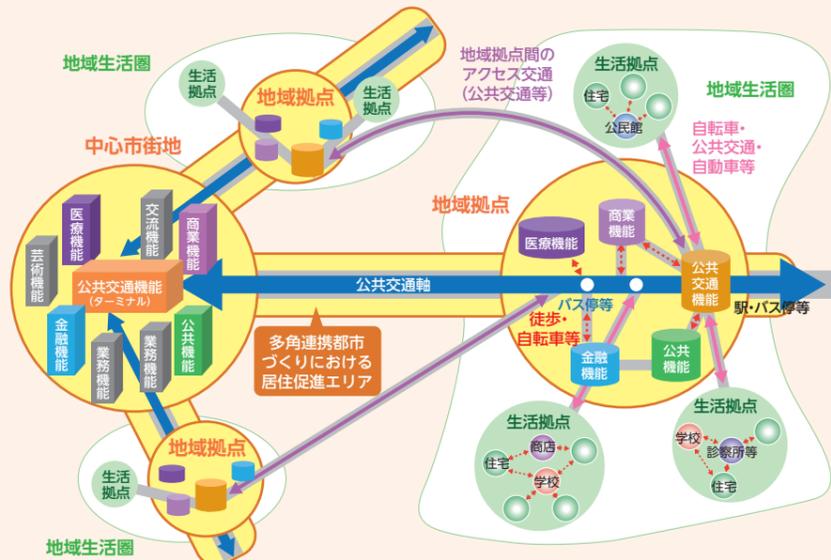
### 特集

## 2050 国土のブランドデザイン

### 対流促進型国土の形成

コンパクトネットワーク	3
熊本県熊本市	6
小さな拠点	8
高知県四万十市西土佐大宮地区・本山町汗見川地区	8
田舎暮らしの促進	10
長崎県北松浦郡小値賀町	10
業務密着ルポシリーズ	12
現場力 FILE 30	12
近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所	12
シリーズ探訪・探究	16
訪れたいまち 第28回	16
MLITレポート	16
兵庫県篠山市	16
教えて！国土交通省イベント・ルポ	20
新幹線サマーセミナー	20
人財虎の穴 FILE 04	21
航海訓練所	21
道の駅 VOI17	22
イルミネーションにぎぎめく どまんなかたぬま(栃木県)／おおとつ枝街道(福岡県)	22
MLIT NAVI	23
【表紙】熊本市内を走る市電の新型車両「COCORO」。市のシンボルである熊本城が背後に見える(6ページ参照)	23
撮影：島田直季氏	23





熊本市が目指す多核連携都市づくりのイメージ

多角連携都市づくりにおける居住促進エリア

「一挙に集積縮小するのではなく、相互連携によって利便性と豊かな環境を双方享受できる、住みよいまちづくりを目指しています」(熊本市都市建設局都市政策課 佐治一誠さん)

九州・東アジアの交流拠点都市を目指した中心市街地の再デザイン

まず「市の顔」である中心市街地においては、高次な都市機能を集約し、にぎわいのあるまちづくりのための取り組みが進められています。なかでも熊本城を望む桜町・花畑周辺は、中心市街地「2核3モール」の1核ながら、現在のバスターミナル・商業・業務などの施設は築後40年以上を経過し老朽化しています。そこで「熊本城と庭つづきの」まちの大広間」をコンセプトに、平成30年度以降のオープンに向け進められている民間事業者による再開発事業とともに、オープンスペースやホールなどの交流施設の導入も予定されています。

「単に集積縮小するのではなく、相互連携によって利便性と豊かな環境を双方享受できる、住みよいまちづくりを目指しています」(熊本市都市建設局都市政策課 佐治一誠さん)

各拠点間の連携を担う公共交通のグランドデザインも平成24年に示されています。

中心市街地と15の地域拠点を結び、鉄道・市電・幹線バスの8軸を「基幹公共交通軸」と位置づけ、輸送力・速達性・定時性の強化を図ります。また日常生活を支える足として発達した路線バスの再編整備も大きな課題です。優先レーンや運行情報を得るためのバスロケーションシステムなどの高機能化に加え、各系統の役割の明確化や競合路線の効率化、時刻表の統一など、事業者の枠を越えた仕組みづくりが求められています。

「一挙に集積縮小するのではなく、相互連携によって利便性と豊かな環境を双方享受できる、住みよいまちづくりを目指しています」(熊本市都市建設局都市政策課 佐治一誠さん)

「政令指定都市となり、九州新幹線開通も追い風となって、国内はもちろんわいのあるまちづくりのための取り組みが進められています。なかでも熊本城を望む桜町・花畑周辺は、中心市街地「2核3モール」の1核ながら、現在のバスターミナル・商業・業務などの施設は築後40年以上を経過し老朽化しています。そこで「熊本城と庭つづきの」まちの大広間」をコンセプトに、平成30年度以降のオープンに向け進められている民間事業者による再開発事業とともに、オープンスペースやホールなどの交流施設の導入も予定されています。

「政令指定都市となり、九州新幹線開通も追い風となって、国内はもちろんわいのあるまちづくりのための取り組みが進められています。なかでも熊本城を望む桜町・花畑周辺は、中心市街地「2核3モール」の1核ながら、現在のバスターミナル・商業・業務などの施設は築後40年以上を経過し老朽化しています。そこで「熊本城と庭つづきの」まちの大広間」をコンセプトに、平成30年度以降のオープンに向け進められている民間事業者による再開発事業とともに、オープンスペースやホールなどの交流施設の導入も予定されています。

「政令指定都市となり、九州新幹線開通も追い風となって、国内はもちろんわいのあるまちづくりのための取り組みが進められています。なかでも熊本城を望む桜町・花畑周辺は、中心市街地「2核3モール」の1核ながら、現在のバスターミナル・商業・業務などの施設は築後40年以上を経過し老朽化しています。そこで「熊本城と庭つづきの」まちの大広間」をコンセプトに、平成30年度以降のオープンに向け進められている民間事業者による再開発事業とともに、オープンスペースやホールなどの交流施設の導入も予定されています。

「政令指定都市となり、九州新幹線開通も追い風となって、国内はもちろんわいのあるまちづくりのための取り組みが進められています。なかでも熊本城を望む桜町・花畑周辺は、中心市街地「2核3モール」の1核ながら、現在のバスターミナル・商業・業務などの施設は築後40年以上を経過し老朽化しています。そこで「熊本城と庭つづきの」まちの大広間」をコンセプトに、平成30年度以降のオープンに向け進められている民間事業者による再開発事業とともに、オープンスペースやホールなどの交流施設の導入も予定されています。

「政令指定都市となり、九州新幹線開通も追い風となって、国内はもちろんわいのあるまちづくりのための取り組みが進められています。なかでも熊本城を望む桜町・花畑周辺は、中心市街地「2核3モール」の1核ながら、現在のバスターミナル・商業・業務などの施設は築後40年以上を経過し老朽化しています。そこで「熊本城と庭つづきの」まちの大広間」をコンセプトに、平成30年度以降のオープンに向け進められている民間事業者による再開発事業とともに、オープンスペースやホールなどの交流施設の導入も予定されています。

「政令指定都市となり、九州新幹線開通も追い風となって、国内はもちろんわいのあるまちづくりのための取り組みが進められています。なかでも熊本城を望む桜町・花畑周辺は、中心市街地「2核3モール」の1核ながら、現在のバスターミナル・商業・業務などの施設は築後40年以上を経過し老朽化しています。そこで「熊本城と庭つづきの」まちの大広間」をコンセプトに、平成30年度以降のオープンに向け進められている民間事業者による再開発事業とともに、オープンスペースやホールなどの交流施設の導入も予定されています。

「政令指定都市となり、九州新幹線開通も追い風となって、国内はもちろんわいのあるまちづくりのための取り組みが進められています。なかでも熊本城を望む桜町・花畑周辺は、中心市街地「2核3モール」の1核ながら、現在のバスターミナル・商業・業務などの施設は築後40年以上を経過し老朽化しています。そこで「熊本城と庭つづきの」まちの大広間」をコンセプトに、平成30年度以降のオープンに向け進められている民間事業者による再開発事業とともに、オープンスペースやホールなどの交流施設の導入も予定されています。

海外からも熊本を訪れる人が増えています。その受け入れの場として中心市街地を充実させることで交流拠点都市としての魅力を高め、市や県全体への波及効果を狙っています(熊本市都市建設局都市政策課 杉村洋輔さん)

ほかに、熊本城の復元整備や熊本駅舎および駅前広場の整備など、交流拠点都市としての利便性や魅力を高める計画が続々と進んでいます。



桜町地区:再開発建物の全体イメージ(平成26年10月現在)



桜町・花畑周辺地区:オープンスペースの一部として歩行者空間化するシンボルプロムナード



桜町・花畑周辺地区:オープンスペースの整備イメージ

桜町地区:再開発建物の全体イメージ(平成26年10月現在)

桜町・花畑周辺地区:オープンスペースの一部として歩行者空間化するシンボルプロムナード

桜町・花畑周辺地区:オープンスペースの整備イメージ

九州の中心に位置し、自然豊かな阿蘇や天草にもほど近い熊本市は豊富な地下水や温暖な気候に恵まれ、農業や産業が盛んな地域です。古くから熊本城の城下町を中心に栄えてきました。平成24年4月に政令指定都市に移行後、人口は増え続け、平成26年には74万人を突破しています。

人口減少・少子高齢化社会を  
見据えた都市の将来像の提示

九州の中心に位置し、自然豊かな阿蘇や天草にもほど近い熊本市は豊富な地下水や温暖な気候に恵まれ、農業や産業が盛んな地域です。古くから熊本城の城下町を中心に栄えてきました。平成24年4月に政令指定都市に移行後、人口は増え続け、平成26年には74万人を突破しています。



コンパクト+ネットワーク

活気に満ちあふれた  
「多核連携都市」を目指して  
熊本県熊本市

高齢者の割合が大幅に増加することが予測されています。その結果、都市活力の低下や交通弱者、空き家の増加など、多くの問題が懸念されています。そこで熊本市では平成37年を目標年次とした「第2次熊本市都市マスタープラン」を策定。「将来のまちの姿」を市民に提示し、実現に向けた施策や取り組みを進めています。

機能が集積した拠点間の連携で  
効果的&効率的な都市経営へ

都市マスタープランで熊本市が掲げた将来像は「豊かな水と緑、多様な都市サービスが支える活力ある多核連携都市」というもの。商業・業務・文化な

しかし、全国的な少子高齢化の影響は避けられず、30年後には経済活動を支える15〜64歳人口が現在の76%まで減少し、

都市マスタープランで熊本市が掲げた将来像は「豊かな水と緑、多様な都市サービスが支える活力ある多核連携都市」というもの。商業・業務・文化な

高齢者の割合が大幅に増加することが予測されています。その結果、都市活力の低下や交通弱者、空き家の増加など、多くの問題が懸念されています。そこで熊本市では平成37年を目標年次とした「第2次熊本市都市マスタープラン」を策定。「将来のまちの姿」を市民に提示し、実現に向けた施策や取り組みを進めています。

機能が集積した拠点間の連携で  
効果的&効率的な都市経営へ

都市マスタープランで熊本市が掲げた将来像は「豊かな水と緑、多様な都市サービスが支える活力ある多核連携都市」というもの。商業・業務・文化な



市電の新型車両「COCORO」はJR九州のクルーズトレイン「ななつぼし in九州」などを手掛けた水戸岡鋭治氏のデザイン。1両ごとに異なる種類の木材を活かしたいすやテーブルなど、通常の市電とは異なる趣き



域では、地域と連携したデマンドタクシー(予約制の乗り合いタクシー)やコミュニティバスなどの新たな公共交通を導入。現在、公共交通空白地域の未対応地区は、2地域を残すのみとなりました。

こうしたまちづくりや公共交通の施策遂行には、未来を見据えた市民の理解が欠かせません。熊本市では、公共交通ブランドデザインを具体的な形とするため、市民・事業者・公共交通事業者行政の役割や責務を明確にし、協働で公共交通の利用促進に取り組むことを明記した熊本市公共交通基本条例を制定し、オープンハウスやリレーションジムなどを開催。公共交通を基軸とした多核連携のまちづくりを目指し、時代に即した新しいまちへと変わっていくつあります。



JR 熊本駅も安藤忠雄氏デザインの駅舎に立て替え予定。市電停を覆う大屋根など 一部完成している



小さな拠点

# 「協働の拠点づくり」を通じて 住民力による地域活性化を支援

高知県四万十市西土佐大宮地区・本山町汗見川地区

## 課題解決先進県として 地域活性化モデルの確立を目指す

日本一森林率が高い高知県。県土の7%ほどの都市部に県民の半数強が集中し、中山間地域では集落の小規模化や人口流出が進んでいます。高齢化も著しく、過疎地では二人に一人が高齢者という地域も増えてきました。

この状況を受け、高知県では平成23年8月より集落調査を実施。その結果、集落維持の危機や生活環境の悪化、産業の担い手不足や野生鳥獣による被害など、多くの問題が明らかになりました。同時に地元で愛着や誇りを持ち、住み続けたいと願う人が多いこともわかりました。

その「住民の思い」に添えようと、県では平成24年度より中山間対策の抜本強化を図り、多様化する課題に対して県庁内の



中山間地域対策課 前田和彦課長

複数部署が連携して解決に当たる



大宮集落活動センターの拠点となっている大宮産業店舗(元農協)



みやの里のみなさん。左から順に地域おこし協力隊竹本さん、代表の竹葉さん、みやの里事務局長窪内さん、四万十市西土佐総合支所上岡係長。竹本さんは昨年から大宮に。農林部会の一員として米づくりに取り組んでいる

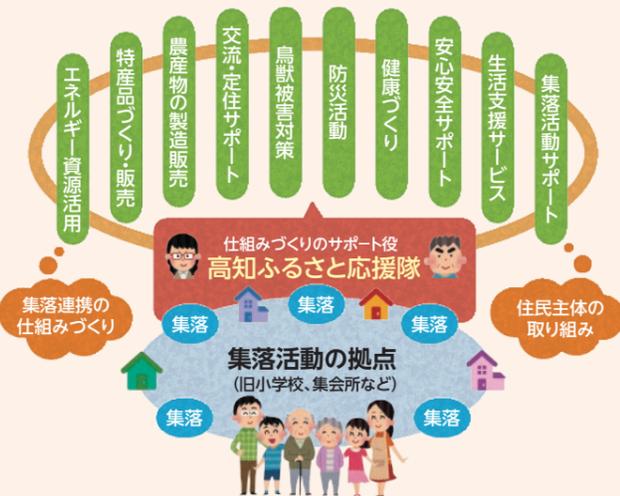
題は「大宮地域振興総合プラン」に集約し、優先順位も住民が決定し、運営されています。

## 「地産外商」にも取り組む 支え合いの仕組みをつくり

みやの里開所後は、田舎暮らし体験交流イベントや野菜の庭先集荷、地域資源を活用した加工品開発、「コスモス畑や竹林の整備など、続々と活動を広げてきました。中でも「ユニークなのが平成26年開始の「お助けレンジャー」。生活の困り事を住民の力で解決するという取り組みで、国の助成が終了する2年後には、有料化も検討されています。

「補助に頼らず、住民の支え合いで自立できる地域づくりが目標です。そのためにも特産品を使った配食サービス

舵取り役として「中山間地域対策課を新設。集落支援と生活支援を政策の柱として、中山間地域の維持と活性化をサポートする施策を展開しています。」



集落活動センターの概要

や、葬祭事業など、地域「一歩」にこえた事業を実現させたいですね(大宮地域振興協議会 事務局長 窪内正彦さん)

## 本山町汗見川の取り組み

### 美しい清流に癒やされる 体験型イベントを通して 地域の活性化に取り組み

本山町汗見川地区は四国山地の中央、吉野川の支流域にある6つの集落から構成されています。現在は98世帯196人と、林業の衰退とともに最盛期の半数を割り、高齢化も急速に進行しています。こうした中、集落の連携は密に行われており、平成11年には汗見川活性化推進委員会を設立し、地域活性化のための取り組みを行ってきました。

その中心となっているのが、廃校を活用した宿泊施設「汗見川ふれあいの郷 清流館」。清流と森の美しい景観を目当てに訪れる宿泊客は年間800人以上。体験イベントなどの交流活動もにぎわいます。さらにこの地域の活性化を目指すため、平成24年6月に県の助

中山間地域対策課では、集落支援の一環として、住民主体で課題解決に向けた地域活動の拠点となる「集落活動センター」の設立や運営を支援。3年間で最大3000万円を助成することにも、「高知ふるさと応援隊」の導入など、地域外からの人的支援も行っています。

「将来的には、行政だけでなく住民主体でNPOや農業協同組合(以下、「農協」)、商店などあらゆる関係者がスクラムを組み、地域活動を担う。そんな自立した仕組みとして実現させることが目的です」(前田課長)

平成26年9月現在で14カ所が開所し、最終的には130カ所の設立を目指しています。その中から二つの地区の取り組みについて紹介しましょう。

## 四万十市西土佐大宮の取り組み 住民が出資して設立した 「株式会社」で生活を守る

愛媛県に隣接する四万十市西土佐大宮地区は、135世帯296人の山

成を活用して集落活動センターを開設。清流館の目の前にそば打ちなどを体験できる交流施設を拡充し、より活動の幅を広げました。

「受け入れ態勢ができたので、さらに積極的に交流イベントを企画していきたい。地域のひとのふれあいを通じて、汗見川地区の魅力が伝わればと思います」(汗見川活性化推進委員会会長 山下一さん)

## 地域内外の協力を得て 特産のシン加工品は黒字に

さらに特産品を用いた加工品の開発にも取り組んでいます。シンアイヌもその一つ。平成26年には2万5千個を売り上げ、黒字化を実現しました。この立役者となったのは平成25年3月まで本山町の地域おこし協力隊として活動してきた野尻萌生さん。福岡県出身の野尻さんは大学を卒業しすぐに本山町に移住して来ました。

「量産化は売上予想が難しく苦勞続き。でもみんなで工夫して取り組んだ達成感は大きかったですね。任期を終えた現在は同地に定住し、集落活動センター事業推進員として活躍しています。また高知ふるさと応援隊の山下祐美さんも「拠点ができたことで若い人や地域外の人も輪に加わ



地域ブランド米として大宮米の生産も盛ん。お米を使って地域ならではの弁当開発や米粉のお菓子なども作られている

間の集落。平成25年5月、ここに大宮集落活動センター「みやの里」が開所しました。この地区で、住民主体の地域活動のきっかけとなったのは、平成17年に農協が経営する生活店舗と給油所の廃止が決定したこと。危機感を持った住民の約8割にあたる108人が平均6万円を出資して、株式会社大宮産業を設立。農協から経営を引き継いで、人々の暮らしを支えています。

「住民による住民のための会社として認知され、利用者が増えてきました。将来を見据え、自ら支えねばと考える人が増えたでしょう」(大宮産業代表取締役・大宮地域振興協議会会長 竹葉さん)

みやの里設立の際も、住民参加のワークショップを開催して意見を集め、「大宮地域振興協議会」を設立するなど、地域主体で進められてきました。課

り、つながりを創出できました」と言います。こうした努力が実った結果、事業的な成功につながり地域内外の関係づくりにも大きな効果をもたらしたと言えるでしょう。今後は活動を継続するための仕組みづくりや、その成果を地域へ還元する方法などが課題とのこと。開所から3年目、新しい地域産業を創生するよう、未来につながるための成果が期待されています。

写真右から汗見川活性化推進委員会山下会長と汗見川の取り組みをサポートする本山町まちづくり推進課の大西課長



集落活動センターでのそば打ち体験。地区の女性が指導役に



写真中央が小学校の建物を活用した宿泊施設「汗見川ふれあいの郷 清流館」



しそアイスの開発・販売の中心となった野尻萌生さん。外部の若い人からの意見は大いに刺激になったとのこと



高知ふるさと応援隊 山下祐美さん

※高知ふるさと応援隊…総務省が推進する「地域おこし協力隊」・「集落支援員」を含む、高知県における地域活動の推進役となる人材の総称。高知県では平成24年度から、導入・活動・終了後にわたり、隊員や導入する市町村を総合支援している



田舎暮らしの促進

手つかずの自然と島人のおもてなし  
西の果ての小さな島が挑戦する離島の未来

捕鯨で栄えた島  
観光を新たな産業に

「この島の人は知らない人にも『どこから来た?』と声をかける、そんな人懐っこさがあるんですよ。それもこの町の自慢です」と小値賀町役場総務課観光係長の橋本博明さんは誇らしげに語ります。

長崎県佐世保市からフェリーで3時間、五島列島の北端に位置する小値賀



小値賀島本島。港へ続く道には車も通れない細い道がいくつもあり、あちこちにお地藏さんが祭られている



町は大小17の島で構成され、そのほとんどが西海国立公園に指定されているほど自然環境に恵まれた島々です。またどこか懐かしい日本の原風景を見ることが出来ます。

島の歴史は古く、旧石器時代から人が暮らし、遣唐使の寄港地にもなっていました。明治の頃は西海捕鯨によって島は発展、五島列島の中心商業地でもありました。

現在は漁業と農業が基幹産業となっていますが、農業の担い手の高齢化や漁業を取り巻く環境が年々厳しくなっていることも影響し、町の人口は減少傾向にあります。

そこで小値賀町が新たな産業として取り組んでいるのが、豊かな自然と、島人のおもてなしの心など島を丸ごと活かした体験交流型の観光です。

「本島の隣にある野崎島」では、廃校になった中学校を利用した「野崎島自然学塾村」を簡易宿泊施設として平成元年から運用しています。当時は観光といえは



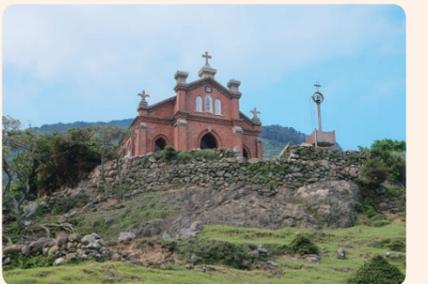
廃校を活用した野崎島自然学塾村。さまざまな体験プログラムを通じて、大自然を丸ごと体験することができる

島の子どもにもなつてもらう  
「民泊」事業を開始

リゾート地が主流でしたが、野崎島で手つかずの自然をぜひ体感して欲しいと考えたのです(橋本さん)  
平成13年度には体験プログラムの提供が可能な自然学校を設立し、カヌーツーリングや島内エコツアーなどを実施するようになりました。現在では、島の魅力が口コミで広がり、県内外からの修学旅行生も含め、年間3000人近くが利用するまでになりました。

平成18年には現在の小値賀観光を象徴する「民泊」がスタート。農家や漁家に宿泊し、その家の手伝いをしながら

小値賀島本島から船で約25分の野崎島。村民たちが建てた旧野首(きゅうのくび)教会(明治41年建立)が今もその姿をとどめる。今年9月、ユネスコの世界遺産登録推薦が決まった「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産でもある



人がいなくなった島は野生のシカたちが「住民」

「小値賀町は平成15年の市町村合併の際、どこも合併しない自立の道を選びました。でも産業が成り立たなければやっていけない。17年に私が移住したときは、そんな模索の渦中にありました。そこで、私自身、小値賀の自然と素朴な日常に魅かれて来たことから島の日常こそ魅力がある、それを体

※平成13年に最後の島民が島を去り、現在は宿泊施設の管理人のみとなり事実上の無人島となっている



島の生活を体験できる「民泊」。「ぶち民家体験」として大人も体験できる

験してもらおうと考え民泊を提案したんです」  
「お客さんをおもてなしするようなのは何も…と及び腰だった島民を二軒一軒説得し、7軒の受け入れ先からスタート。実際始めてみると、宿泊する側だけでなく受け入れる側からも「楽しかった」という感想が聞かれたといいます。こうした評判は徐々に島民に広がり、現在受け入れ先は36軒にのぼっています。

「特別なことはないんです。畑の野菜で昔から伝わる島ごはんと一緒に作るなど、その家にいる間は島の子どもになつてもらう。受け入れ先にも良い刺激になっているようで、感動が双方で生まれています(高砂さん)。今や「次の受け入れはいつ?」と心待ちにしている島民もいるほど。この取り組みは多くの評価を受け、アメリカの高校生の国際交流プログラムでは「もう一度行きたい」と満足度世界1位になったほか、数々の賞を受賞し



火山島ならではの光景がひろがる赤浜海岸

観光産業として成り立つには通年にわたり観光客を呼ぶ必要があります。そこで着目したのは町内に残る古民家。

大人の島旅を提案する  
「古民家ステイ」

「東洋文化研究家のアレックス・カー氏の助言を受け、古民家を改修し宿泊できるようにしました。食事を楽しめる古民家レストランもあります。癒しを求めて来島される方には、心おきなくゆつくりくつろいでほしい(高砂さん)

町が所有する江戸、明治、昭和初期の古民家6棟を離島体験滞在交流促進事業などを活用して改修。1棟1組の貸し切りとなっており、家族や友達同士で楽しく島に暮らすように過ごせます。とはいえ、島民との触れ合いも体験して欲しい(高砂さん)



「暮らすように旅する」ことができる「古民家ステイ」。家から一歩外に出れば、島人のふつ々の暮らしに接することができる

とから、「ぶち民家体験」という民泊の良さを活かしたプログラムも用意しています。  
古民家事業開始から丸4年、年間1500人が利用するまでになり、半分近くが東京など関東圏からの観光客。客層の広がりに手ごたえを感じています。

1ターナー者が増加  
人口減少の歯止め

震災を境に国内の、田舎を回り積極的に体験していくというような旅行感の変化が感じられると両氏は話します。「施設を作って何かしようという

ではない。我々の売りはやはり「人」。小値賀にしかできないことを考えながら人を活かした交流プログラムを今後もつくってきたい(高砂さん)。さまざまな取り組みもあり、1ターナー者の数は100人ほどにもなり、人口減少の加速を食い止めるまでになっています。

「以前野崎島自然学塾村に来た子が、学校を卒業したのでここで働きたいと言ってきてくれたんです。こうした島にきたい、という原資を増やすために、行政としても協力していきたい(橋本さん)

東シナ海に沈む雄大な夕陽が見られる斑島は、島屈指のサンセットスポット



# 近畿圏の活性化に向けた 道路整備が進行中 和歌山エリアのさらなる発展に貢献

道路建設や改良工事、事業を通じて地域の生活と発展を支える和歌山河川国道事務所。  
和歌山の地域住民や産業から大きな期待を寄せられる、  
京奈和自動車道(紀北西道路)の整備事業とそれに携わる4人の建設監督官をご紹介します。



6・7工区担当 建設監督官 増田寛四郎



6工区担当 建設監督官 中村恭介



7・8工区担当 建設監督官 小丸博司



8工区担当 建設監督官 栗間和也



## 近畿三都市圏を結ぶ バイパスが担う発展への期待

京奈和自動車道は、その名前の通り「京都」、「奈良」、そして「和歌山」の延長約120kmの高規格幹線道路です。これまで高速道路のなかったこのエリア

に京奈和自動車道が開通すれば、三都市間の行き来に要する時間が大幅に短縮されます。加えて、関西国際空港や和歌山下津港など海外の窓口からのアクセスが飛躍的に向上するとともに、近畿圏および中部圏が一体となった大規模な経済圏の誕生が期待できます。

北西道路の開通に向けて現場での協議や監督を行っています。

### 移動時間の短縮や渋滞・事故抑止 地域産業の活性化も

既に和歌山県内においては全体の7割に近いルートが開通しており、平成26年10月現在、残るルートについても急ピッチで整備事業が進められています。今回訪れた「紀北西道路」は、京奈和自動車道の紀の川市側起点から12.2kmの区間にあたります。

6工区を担当する建設監督官中村恭介は、紀北西道路に地域の人々が寄せる期待は大きいと言います。

「地元は数本の主要道路しかなく、国道24号や県道ではしばしば交通渋滞が発生していました。京奈和自動車道は高規格幹線道路ですが、無料ということもあって、地域の方々にバイパス道路として利用していただけます」

## 6工区



6工区の山岳トンネル掘削現場。トンネル内に空気を送り込むための太い管がトンネル奥に続く。設計寸法通りか確認するの中村の仕事

紀北西道路は紀の川市神領の紀の川インターチェンジから岩出市根来まで建設が進む岩出インターチェンジ(仮称)を経て、和歌山側のジャンクションにおいて阪和自動車道とつながります。

「和歌山県の高速道路は阪和自動車道の本一しかありません。これまで和歌山の方々は、京都・奈良方面に行こうとすると高速道路では阪和自動車道を利用し大阪を経由して行くルートしかなく、代替ルートを選ばませんでした。それを解消するのが、京奈和自動車道です」と語るのは、和歌山河川国道事務所副所長(道路)の河合良治。現在、河合のもとで、4名の建設監督官が全力で紀

これによって、従来は病院に通うのにかなりの時間を要したのが、高速道路で楽に通院できるようになるなど時間短縮効果が期待できます。また国道の交通量が減ることで、渋滞や交通事故の抑止にもつながります。事実、紀北西道路から奈良側に延びる平成26年3月に開通した紀北東道路沿線では、並行する国道24号の交通量が3〜4割減少。また平成19年度に開通した橋本道路沿線の国道での死傷事故件数は、年間で約60件減少という効果が既にあり、紀北西道路でも同様の渋滞や事故の抑止効果が期待されています。

一方、産業面での貢献を指摘するの

は、7・8工区担当の建設監督官小丸博司です。

「この周辺は柿や桃などの名産地として知られていますが、これまで東日本方面への出荷は主には大阪経由でした。しかし全線開通のあかつきには、奈良や京都を経由し、これらの農産物もより迅速かつ大量に出荷できるようになるはずです」

また京奈和自動車道沿線では、輸送力の向上に注目した企業が工場を積極的に開設しています。すでに沿線全体では11の地区で自治体の主導による産業団地の立地が進行中です。紀北西道路

8工区

測量機で工事の仕上がり高さをチェックする栗間



8工区は一番最後の短い区間だが山の切土が多い現場。現場は紀ノ川SA(写真左側)から進入している



てもらうなどの試みを行っています」  
 としてPR以上に重要なのは、工事の安全です。紀北西道路はトンネルや山あいの高所を通る橋梁が多く、一方で鉄道や生活道路に隣接した箇所もあるなど、作業員はもちろん周囲の住民も含めた安全確保への取り組みが一段と要求されます。  
 その基本となるのは毎月一回、建設監督官と各事業者が一堂に会する「安全協議会」です。ここでは工事の安全に関するあらゆる情報が交換され、また改善が必要な事柄については必ず報告や指示が行われます。建設監督官自身もそれぞれに、この場を活かして安全の徹底に努

「地図に残る仕事」を合言葉に完成の日に向けて前進  
 長い年月と多くの地域住民の理解と協力に支えられて、ようやく完成を迎える道路整備事業。その供用開始の瞬間が、何よりこの仕事のやりがいを実感できると建設監督官たちは口々に語ります。  
 「よく言われることですが、『地図に残る仕事』というのがありません。そもそもこの仕事を指しした動機には、大きなプロジェクトに携わりたいという気持ちがありました。そうした意味で、今回のような大規模の道路整備事業



7工区の現場見学会に参加した小学生たちから届いたお礼メッセージ。ひとつ一つの言葉が作業への励みになったという

「現場を見回った際に気が付いた安全上の問題箇所を写真に撮って、安全協議会でその写真を配布・共有して安全意識を高めてもらうようにしています」(中村)、「他の工区や事務所が発生した事故の情報や協議会を紹介し、貴重なケーススタディとして活かすようにしています」(増田)、「高所作業の多い工区なので、転落災害には非常に気を遣うよう協議会でも繰り返し呼びかけています」(小丸)といった各建設監督官の言葉に、この協議会が工事の安全を守る重要な柱になっていることがわかります。

PROFILE

**建設監督官 中村 恭介**  
 平成4年、旧建設省に入省。紀南工事事務所を振り出しに近畿地方整備局管内の各地で道路の改築、修繕工事などを担当。平成26年から現職。

**建設監督官 増田 寛四郎**  
 平成3年、旧建設省に入省。各地の国道事務所にて交通安全対策事業および道路維持修繕事業を担当。その後耐震改修、橋梁保全事業などを経て平成25年から現職。

**建設監督官 栗間 和也**  
 平成元年、旧建設省に入省。紀の川ダム統合管理事務所で大滝ダム事業を担当。関西国際空港(株)への出向や京都西立体交差事業・新名神関連事業を経て、平成26年から現職。

**建設監督官 小丸 博司**  
 平成5年、旧建設省に入省。明石海峡大橋関連事業を始め、各地での事業実施計画や調査・設計、広報、道路事業分析評価などを担当。平成25年から現職。

建設中の橋脚の基礎部分を真上から見たところ

組まれた鉄筋を確認する小丸

紀北西道路の中でもっとも高所作業の多い7工区の現場。赤茶色の橋脚は工事用の仮設橋で実際の橋脚はその下の鉄筋が組まれている箇所から作る。一番高いところでは高さ約100mにもなる

7工区

7工区岩出IC近くの現場。観光客も多く利用することが予想されるので、橋脚には擬石模様の型枠を用いるなど周辺環境に配慮

県道が土で汚れていないか+αの視点で現場をチェックする増田。気になるところは写真で記録していく

沿線の紀の川市でも、和歌山県土地開発公社による北勢田ハイテクパークの開発が行われています。  
 6-7工区を担当する建設監督官増田寛四郎は、沿線住民の声によって京奈和自動車道への意外な効用に気づか

れたと語ります。  
 「道路が開通したら、息子が帰ってきってくれる。孫が度々家に来てくれるといった期待をあちこちで伺うのです。これは、私自身予測しなかったメリットでした。やはり若い人は進学や就職で京都、奈良などに出て行くことが多く、そういう方々が気軽に故郷と行き来でき

ようになつたと思えます」  
 このほかにも和歌山の豊かな観光資源への、外国人も含めた観光客の呼び込みなど、新しい道路のもたらす地域発展効果は多くあります。  
**地元への理解促進  
 そして工事の安全確保が  
 何よりも大事**  
 幅広いエリアに及ぶ道路整備事業は、地域住民の理解と協力がなくては、どうして進めることができません。建設監督官たちは、地元の方々のコミュニケーションを通じて事業への理解・協力の促進を何よりも大切に考えています。  
 「基本は、自分の住む家の近所につきあいて同じです。実際の工事を担当する施工業者の方にも、地元の皆さんに会うときには忘れずに挨拶をして欲しいといったことを繰り返しお願いしています。また、地域の道路清掃や草刈り、お祭りなどにもできるだけ参加させてもらい、コミュニケーションを図るように努めています」(中村)  
 こうして日常的に顔を合わせてい

は達成感もひとしおです」(中村)  
 また増田も、「以前の現場で開通式の時、取材のカメラマンを見晴らしの良い場所に案内したのですが、走り初めの車列が視界に現れた瞬間、思わず小さくガッツポーズしていました」  
 このほかにも地元の見学会で住民の方々が楽しそうに笑顔で現場を見ている姿や、開通式の車列を先導するパトカーがトンネルから現れた瞬間、地域住民の方々から大きな歓声が挙がったことなど、建設監督官たちのうれしい思い出は尽きることがありません。  
 平成27年度の供用開始を目指して、まさに工事の最盛期を迎えている



各工区で行われた見学会の様子。6工区(上)の見学会は周辺地域の方々を招待。8工区(下)では小学生を招き、掘削した土で花の苗作りも行った



栗間が作成した見学会案内のチラシ。参加しやすいようデザインやタイトルにも工夫を凝らしている

# 訪れたいまち

兵庫県篠山市

兵庫県

篠山市



篠山市篠山伝統的建造物群保存地区



**●大正ロマン館**  
平成4年までの約70年間篠山町役場として使われた建物。売店やレストランがあり観光の拠点に

**●歴史美術館**  
明治24年に建てられた日本最古の木造裁判所を90度回転させ美術館に改修。館内には旧法廷の姿が残されています

**●鳳鳴酒造ほろ酔い城下蔵**  
1797年に創業した鳳鳴酒造の建物。酒蔵見学では酒造りに使っていた古い道具や清酒の製造工程を紹介。試飲もできます

**●武家屋敷安間家史料館**  
旧安間家住宅で、内部には江戸時代の文書や食器など篠山藩ゆかりの資料を展示

庭園にある水琴窟(すいきんくつ)。中央の黒い石に水をかけると心和む美しい音色が

**●旧武家町の町並み**  
屋敷内にはカキヤフリが植えられています

庭園にある水琴窟(すいきんくつ)。中央の黒い石に水をかけると心和む美しい音色が

**●丹波杜氏酒造記念館**  
酒造りのまちと知られる篠山。丹波杜氏の古くからの道具や酒の醸造を9つの過程で展示

**●旧商家町の町並み**  
妻入町家の敷地は間口が狭く奥行が深い特徴

**●小林家長屋門**  
茅葺きの長屋門。城下町の武家町にあった数少ない貴重な武家屋敷門

**●下河原町の鉾山**  
毎年10月の春日神社の秋の祭りにはまちを巡行します。以前、ここはパチンコ屋だったとか

**●西坂家住宅**  
江戸時代に建築され醤油屋を営んでいた中二階建妻入の町家

**●川端家住宅**  
明治前期に建築された平入町家。内部の豪華さは伝建地区で群を抜く

**●竹林**  
ボランティアにより整備されています

庭園にある水琴窟(すいきんくつ)。中央の黒い石に水をかけると心和む美しい音色が



堂々とした石垣が往時を偲ぼせる篠山城跡

城下町の篠山城跡、武家屋敷や商家群からなる美しい伝統的まちなみ。今もなお当時の面影が残る歴史的なまちなみを守り続けた人たちの思いと、まちづくりの努力のあかしがある。

周囲を山に囲まれた盆地の中にあり、古くから京都と山陰、山陽を結ぶ交通の要衝の地。徳川家康の命による天下普請により篠山城が築城、翌年から城下町が整備。江戸時代を通して篠山藩5万石の中心地として栄えた歴史と伝統を今に伝える古きたずまいの丹波篠山。

**歴史あるまちを守る**

城下町形成時の町割りが残され、静かな時間が流れ歴史を感じさせる古民家、小さなエリアに多くの文化財があり、小京都の雰囲気。平成26年に都市景観大賞を受賞した篠山城下町地区。城跡を中心に東西約1500m、南北約6000mの「篠山市篠山伝統的建造物群保存地区」(以下、「伝建地区」)がある。河原町と小川町の東西700mの通り沿いの両側は主に妻入の中二階建の主屋が建ち並び、窓は出格子やムシコ窓、表構えは大戸や格子を基調とした旧商家町。時代劇の世界に

入り込むような感じに包まれる。黒岡川を境に、篠山城跡の周囲に広がる西新町と南新町、東新町がある旧武家町。御徒土町通りには土塀と棟門、茅葺の主屋が建ち、武家屋敷のたたずまいが伝わる。

篠山城下町は昭和30年代以降に無住家屋が増え、建物の取り壊しでまちなみを存続できない可能性が高くなり、特に伝建地区は、江戸時代から昭和初期に建築された建物が多く、老朽化による傷みなどが多くまちなみ保存が緊急の課題となり、昭和40年代から取り組みが始められた。城跡の石垣修理事業を始めに、道路整備、道路美装、電線類地中化などが進められ、「伝統的建造物群保存地区制度」導入の取り組みを目指すものの、当初はなかなか地域の理解が得られず、2度見送りになる。平成11年の篠山市誕生をきっかけに3度目の取り組みを行うこととなり、導

入にかかる住民の情熱と献身的な努力により平成15年に「篠山市伝統的建造物群保存地区保存条例」が制定。平成16年「伝建地区」を指定、同年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定。翌年から伝建地区の保存修理事業が始まり歴史的なまちなみがさらに美しくなっていく。

篠山城下町全域は平成5年に県条例による「歴史的景観形成地区」に、平成23年には景観法に基づき篠山市景観条例により「歴史地区」に指定され、伝建地区を含む城下町全域の景観保全・形成が進められている。

**今ある姿を残すために**

伝建地区のまちなみを守るために住民、専門家や篠山市で三者連携の取り組みが行われている。

伝建地区指定を機にまちなみ景観保存、住環境整備で魅力あるまちづくりを目的に平成16年9月に結成されたのが「篠山まちなみ保存会」(以下、「保存会」)。以降、保存会役員、建築士、篠山市職員が出席し毎月1回開催される定例役員会では、特定候補の検討、修理工事対象物件の選定、工事の進捗管理などについて話し合いを。ほかに修理見学会、視察研修など

※2 重要伝統的建造物群保存地区……伝統的建造物群保存地区の区域の全部又は一部で、我が国にとって価値が高いものとして文部科学大臣が選定

※1 伝統的建造物群保存地区……伝統的建造物群及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存するため、市町村が都市計画又は条例で定める地区

全国各地で働く  
国土交通省職員が  
地元を紹介!

# MLIT レポート 兵庫県

魅力いっぱいの但馬にお越しください

Reporter

近畿地方整備局  
豊岡河川国道事務所  
調査第二課長

東岡 正樹



豊岡河川国道事務所では、豊岡市と丹波市を結ぶ延長約70kmの国道483号北近畿豊岡自動車道の整備を進めています。現在は、春日から八鹿氷ノ山間が開通しており、引き続き豊岡までの区間の整備を進めています。平成16年の台風23号では、主要道路が土砂崩れや路面冠水により多くの場所で通行止めとなり、緊急物資や救急医療活動に大きな支障をきたしました。

全面開通後は、災害時の代替路として機能し、地域間の移動や災害支援サポートをします。また、豪雪地帯でもある但馬地域の冬の日常生活を支え、広域高速ネットワークが広がることにより京阪神圏への所要時間が短縮し、生鮮食品の鮮度保持・品質向上、温泉やウインターリゾートへのアクセスが便利となり、観光産業の活性化が期待できます。さらに救急医療施設へのアクセスが強化され、地域住民の生命を守る「命の道」として活用されるなど、全面開通は但馬地域の悲願ともなっています。

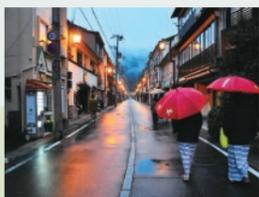
但馬は、最近話題の天空の城・竹田城、名湯で知られる城崎温泉、四季折々の豊かな自然やズワイガニなどのおいしい食べ物が豊富です。豊岡市では「コウノトリ」の共生を進めており、天然記念物の「コウノトリ」を間近で見ることが出来ます。近くなった魅力いっぱいの但馬に会いに来てください。



湯村温泉



津居山漁港(ズワイガニ漁)



城崎温泉



養父(やぶ)市八鹿町九鹿地区



豊岡市日高町浅倉地区

但馬地域へ  
つながる工事が  
進行中です

<北近畿豊岡自動車道>		<その他の道路>	
凡	閉通済(暫定2車線)	閉通済	閉通済
例	事業中	事業中	調査中
	調査中	調査中	国道9号



八チ北高原スキー場

保存会登録建築士で兵庫県ヘリテージマネジャーの河南誠さんは、「古民家の修理は新しすぎても古すぎてもダメで境目が難しいが、古民家は一般住宅とは違い空間の広がり、外観のデザインの統一感のあるところがいい」、酒井吉一さんは「伝建地区はまちなみを残すためにいろいろなルールがある。みんなでルールを守りながら、このまちなみを大切にしていきたいと思います。」と話す。

「NPO法人町なみ屋なみ研究所」が主体となって取り組んでいるのが「古民家再生プロジェクト」。町家が解体されまちな



左上からNPO町なみ屋なみ研究所 才本謙二さん、教育委員会社会教育・文化財課 成田雅俊さん、左下から篠山まちなみ保存会 副会長小林宗平さん、会長小林一三さん、保存会登録建築士 河南誠さん、酒井吉一さん

みが壊れるのを食い止めたいたい思いから設立。理事の才本謙二さんは「市民主導の古民家再生は、専門家の指導のもとにボランティアが作業。時間がかかり年に1、2件しかできないが、さまざまな効果を生み大変やりがいがある」と。ボランティア作業は月2回で解体や塗装など。プロによる裏技が伝授できるトリートメントがついている。再生した古民家は店舗などに生まれ変わる。また、西新町や南新町で繁茂した竹林も自治会などのボランティア作業により整備を行っている。

近年は、市民主体による「丹波篠山まちなみアートフェスティバル」などのイベント開催でまちの活性化にもつながる。伝

## 城下町の古民家カフェ



岩茶房丹波ことり...武家屋敷を改装。深い香りが楽しめる岩茶専門店



栄電堂...心地よくゆっくりとした時間が流れる素敵なカフェ



ジャズミンティマ...庭を眺めながら落ち着いた雰囲気の中で食事を

## 歴史・文化・食と魅力がいっぱい

四季を通して城下町で行われる行事。春日神社の秋の祭礼は4基の神輿、9基の鉾山が城下町を巡行する様子は祇園祭を思わせる。古民家を利用したお洒落なカフェや雑貨店が増え、情緒ある城下町を歩きながら篠山の歴史・文化そして買物が楽しめる観光スポットとして注目され、篠山市を訪れる人が増え、兵庫県でも有数の観光地の一つに。観光案内所では「ささやま聴き旅」が借りられ、専用スマートフォンを説明ボードに近づけると音声ガイドブックが自動的に気軽に散策でき、「まちなみ観光案内所」の看板がある店舗などでは篠山の観光情報を教えてくれる。

丹波黒大豆、栗、山の芋、ばたん鍋など篠山の大地の恵みの特産物もある。小さいながら魅力がギュッと詰め込まれたまち。この機会に篠山市を訪れてみては。

## 都市景観大賞「都市空間部門」

都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。「篠山城下町地区」は平成26年度に大賞(国土交通大臣賞)を受賞。

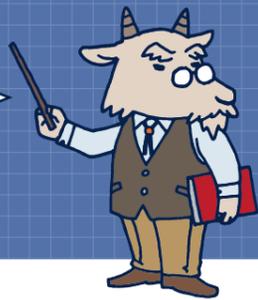


おいしいものと見どころがたくさんの篠山へ遊びに来てね

# 人“財”虎の穴

FILE 04 航海訓練所

社会を支える  
専門家の養成機関  
を紹介するぞ



「将来の船長や機関長を育てています！」



## ■ 大海原で活躍する「船員」

四方を海に囲まれた日本は、荷物や物資などの99.7%が船により運搬されており、私たちの暮らしや経済を支え物流の要として多方面で活躍しているのが船の運航を担う船員です。

航海訓練所では、世界最大級の帆船日本丸、海王丸、ディーゼル機関を備えた大成丸、銀河丸、青雲丸の5隻の練習船で航海訓練を行います。その対象は、将来客船やタンカー、フェリーなどの船長、機関長を目指し、商船系大学や高等専門学校、独立行政法人海技教育機構で学ぶ学生です。

練習船実習をとおり、船員として求められる資質、知識および技能を兼ね備えた優秀な人材を育成し、国内外の海上輸送の安全と安定を目指しています。船員は世界および日本各地の風景を見られる素晴らしい夢のある職業です。



将来活躍が期待される学生たち



練習船日本丸出港の様子

## ■ こんな訓練や教育を行っています

練習船では、船員に必要とされる応用実践力と高度な知識技能の修得、指導性や行動習慣の体得を目的とし、長期間の共同作業や生活を通し、責任感、精神力、協調性を養います。また、国際航海に従事するための教育も行っており、船橋および機関室では作業コミュニケーションの英語化を取り入れ、生きた英語に触れることにより実践的コミュニケーションを学ぶ海事英語訓練を実施しています。

練習船日本丸での訓練の一日。毎朝6:30に起床。甲板に海水をまいてヤシの実のタワシで磨きます。真冬は裸足で冷たくてもがまん。朝食後、午前中に航海系では錨を揚げて船を走らせ、計画した場所に錨を打つ訓練。機関系では船を走らせるためのエンジン始動訓練。午後から全員がマストに登って作業。高いところで海面から約50m。初めは怖いけど訓練を重ね安全に気を配り、全員一致で協力して帆を広げます。

船を動かすにはチームワークが大切。厳しい訓練の合間に仲間との交流を深めながら船内生活を送ります。



航海科実習(帆船訓練)



機関科実習(主機ピストン抜き出し整備)

どんな人が  
教えているの？



実習生の乗船から下船するまでのプロセスをとおり、将来、船長や機関長などとして世界や日本全国の海で活躍している姿を見られるが楽しみです。

航海訓練所 教育部企画研究課  
航海科教官 わたなべ かねひと  
渡邊 兼人



航海訓練をとおして、知識と実践力を備え、かつ海技従事者として要求される資質を兼ね備えた優秀な人材を育成し、地球環境の保全と社会の発展に寄与する技術研究を行い、国内外の海上輸送の安全と安定に貢献する機関です。

〒231-0003 神奈川県横浜市中区北仲通5-57 横浜第二合同庁舎20階  
TEL: 045-211-7302 (代表) FAX: 045-212-0006  
ホームページ <http://www.kohkun.go.jp>



一般公開の様子

## イベント情報

練習船があなたの近くの港に停泊しているかも。停泊期間中は一般公開し、普段見られない船内を見学できるチャンスが。船員を目指す実習生が案内にあたり日々の生活などの様子を聞くことができます。詳しくはホームページのイベント情報をご覧ください。

教えて! 国土交通省 特別編

イベント・ルポ

将来のリーダーとなる留学生へ“新幹線システム”をアピール!

新幹線は世界のトップランナーとして、自他ともに認める高性能と実績に裏づけされた優れた鉄道システムです。新幹線に対する留学生の関心は極めて強いのですが、自国では個々の技術面や駅周辺の都市計画など新幹線システム全体を幅広く見渡す総合的な教育研修体制は残念ながら確立されておらず、そのニーズは非常に高くなっています。一方、わが国で学習した留学生は、学位取得後は出身国や国際機関などでいざ指導的立場になるということを見込み、将来のリーダーたちが、在学中に新幹線に関する質の高い充実したセミナーを受けておくことは、本人たちや出身国はもとより、わが国のイン



JR東日本小縣副会長による講義

フラ海外展開戦略上も極めて意義が高いと考えられます。

そのため、東京大学と政策研究大学院大学は9月2日~4日に「Shinkansen Summer Seminar for International Students (3SIS) 2014」を開催し、15の国・地域からの留学生など31名が参加。セミナーでは、共催企業であるJR東海の葛西名誉会長やJR東日本の小縣副会長の講演をはじめ、さまざまな分野の第一人者たちによる計11コマの講義、JR東海浜松工場、リニア・鉄道館や総合研修センターの見学も行われました。来年度は、“都市鉄道”をテーマに留学生セミナーを開催する予定です。



JR東海葛西名誉会長による講義

## セミナー参加者の感想

東北大学 災害科学国際研究所(奥村研究室)  
ティルトム・フセイン氏(トルコ出身)

新幹線サマーセミナーでは、新幹線の技術、運行システム、メンテナンス、超電導リニアなどについて幅広く学ぶことができ、大変有益でした。新幹線は世界で最も優れた高速鉄道だと思います。このセミナーに参加して、新幹線の安全性、定時性などがどのように保たれているのかなど、新幹線システムに関する理解を深めることができました。このセミナーを企画していただいた関係者の皆さまに感謝申し上げます。



セミナー実行委員長の家田仁教授(東京大学・政策研究大学院大学)とフセイン氏



リニア・鉄道館見学



JR東海浜松工場見学



## 01 高校生の作文コンクール＆「私たちの主張」～未来を創造する建設業～入賞者決定!

### 高校生の作文コンクール

～「建設業の未来」を担う高校生の君たちへ～

- 国土交通大臣賞 (2作品)  
葛城 圭巳汰 静岡県立沼津工業高等学校 (3年)  
矢野 龍太 長崎県立鹿町工業高等学校 (2年)
- 土地・建設産業局長賞 (3作品) ● 佳作 (10作品)

### 「私たちの主張」

～未来を創造する建設業～

- 国土交通大臣賞 (2作品)  
菅 真也 沼田建設株式会社 (山形県)  
西久保 信輔 松尾建設株式会社 (佐賀県)
- 土地・建設産業局長賞 (3作品) ● 佳作 (10作品)

国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会は、建設業へ関心を抱いていただくため、建設業で活躍する自分の姿や、自分の作りたい建物などに対する「夢」や「憧れ」などについての『高校生の作文コンクール』および建設業で働く方の仕事を選んだ動機、これから就職しようとする若者へのメッセージの『私たちの主張』を実施しており、平成26年度入賞者が決定しました。

入賞作品は以下のホームページで公表しております。

「建設現場へGO!」 <http://genba-go.jp/>  
(一財) 建設業振興基金のホームページ「建設のしごと」  
<http://www.yoi-kensetsu.com/shigoto/index.html>

お問い合わせ 土地・建設産業局 建設市場整備課  
TEL: 03-5253-8283 FAX: 03-5253-1555

## 02 女性トラックドライバーの活躍を応援する「トラガール促進プロジェクトサイト」を開設しました!

トラック運送業界における女性の活躍を促進するため、女性トラックドライバーを「トラガール」と名付け、さまざまな取り組みを行っています。

9月には、自動車局ホームページ内に「トラガール促進プロジェクトサイト」を立ち上げました。同サイトでは、現役トラガールとその経営者のインタビューほか、トラガールになるための方法や各界からの応援メッセージな

どを掲載しています。ぜひご覧ください!



トラガール

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/tragirl/>

お問い合わせ 自動車局貨物課  
TEL: 03-5253-8111 (内線41323)

## 03 「東京」の気象観測を行う地点が変わります!



北の丸公園の新しい観測施設

温度計・湿度計

積雪計

雨量計

平成26年12月2日、気象庁では「東京」の気象観測を行う地点を、気象庁本庁舎敷地内(千代田区大手町)から、およそ900メートル離れた北の丸公園内(千代田区北の丸公園)へ移転する予定です。移転後は、この新しい地点での気温などの観測値が、「東京の観測値」として発表されます。

地上観測地点 東京

[http://www.jma.go.jp/jma/press/1410/03b/20141003\\_tokyo\\_rojo.html](http://www.jma.go.jp/jma/press/1410/03b/20141003_tokyo_rojo.html)

お問い合わせ 東京管区気象台総務部業務課  
TEL: 03-3212-8341 (内線5542)

編集  
後記

取材の日、台風の上陸が予想され早めに新幹線に。しかし、品川駅でおよそ6時間停車。自由席なこともあり外の様子は把握できなかった。運転再開後徐行の沿線は、田は水につかり、渡る川はみな濁流に驚愕した。富士川鉄橋は最徐行で渡った。台風一過の富士はかつて見たことのない美しいものだった。その日の夕方には目的地に無事到着。安全安心の鉄道の旅。(K)



点灯期間: 2014年11月1日～2015年2月28日  
点灯時間: 日没～24時

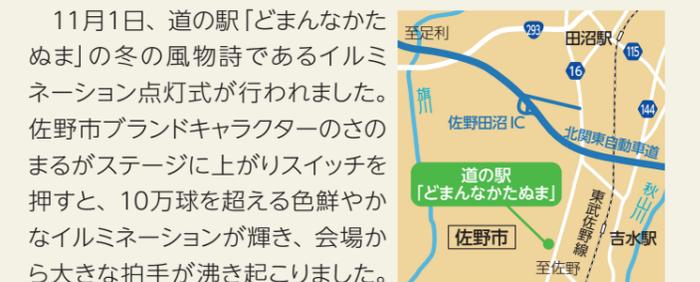
### 駅長に聞きました!



篠原 敏秀 さん

農産物直売所には、地元産の新鮮な野菜類や、おすすめの物産品が充実。自慢の本格中華料理店「花と華」をはじめ、和洋食レストラン、手づくりジェラート、たい焼き・たこ焼きの店、焼きそば・豚まんの店、手づくりパンなどおいしいお店がたくさんございます。

## どまんなかたぬま 栃木県



11月1日、道の駅「どまんなかたぬま」の冬の風物詩であるイルミネーション点灯式が行われました。佐野市ブランドキャラクターのさのまるがステージに上がりスイッチを押すと、10万球を超える色鮮やかなイルミネーションが輝き、会場から大きな拍手が沸き起こりました。5mのシンボルツリーや子ども目線で配置されたキャラクターなどが夜のガーデンを彩ります。レストランで食事をしながら眺めることもでき、それはそれはロマンチック。

ユニークな駅名は佐野市の田沼地区に日本列島の中心地があるからです。毎朝採れたての新鮮地元野菜を販売している農産物直売所や無料の足湯もあります。名物の佐野ラーメンやいもフライもご賞味ください。1年を通してイベントも盛りだくさん。みんなが楽しめる「満点ステーション」に出かけてみませんか。

DATA ■ 所在地: 栃木県佐野市吉水町366-2  
■ TEL: 0283-61-0077 ■ FAX: 0283-61-0080  
■ HP: <http://domannaka.co.jp/>

## 福岡県 おおとう桜街道

豪華なイルミネーションは年々そのスケールを増し、今年は45万個のLEDが冬の夜の空間をキラキラと輝かせます。あふれる光に思わず「感動」の一言。露天風呂にもイルミネーションがあるので、光と冷たい空気に包まれたあとは、体を温めながら眺めるのもまた特別な楽しみ方。

三つの施設があり、「もみじ館」ではクリスタルピアノの演奏がお出迎え。桜ともみじの陶板など癒しの空間が広がります。「さくら館」は温泉施設で、家族風呂や釜風呂、九州では医療機関しか扱いない薬石湯などが利用できます。「子ども広場」には子どもたちが一日中飽きずに過ごせる遊具がたくさん!家族連れに大人気の道の駅です。なんとと言っても優美な「1億円トイレ」を是非ご自身の目でお確かめください!

DATA ■ 所在地: 福岡県田川郡大任町大字今任原1339  
■ TEL: 0947-63-4430 ■ FAX: 0947-63-4431  
■ HP: [http://www.town.oto.fukuoka.jp/info/prev.asp?fol\\_id=1745](http://www.town.oto.fukuoka.jp/info/prev.asp?fol_id=1745)



点灯期間: 11月下旬～翌年1月末まで(予定)  
点灯時間: 17時30分～22時30分(予定)

### 支配人に聞きました!



梅林 英三 さん

親子三世代が一日ゆっくりと楽しめる施設で、物産館には直売所や1億円トイレ、フードコート、露天風呂や薬石浴を備えた温泉施設に、子どもが喜ぶ親子ふれあい広場もあります。LED球を45万球使用したイルミネーションは美しさと感動を与えてくれます。ご家族や友人と遊びに来てください。

※それぞれの道の駅の営業時間・定休日はホームページにてご確認ください。